

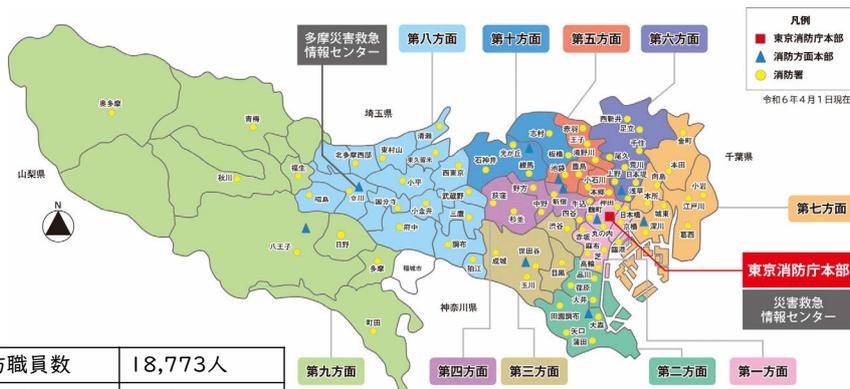
やさしい日本語で 防災について学ぶ

東京消防庁
防災部防災安全課地域防災係

消防司令補 三枝 翔

はじめに ～東京消防庁って？～

島しょ地域と稲城市を除く東京都のほぼ全域の消防業務を担っている組織です。



消防職員数	18,773人
消防署	81署
消防分署	3分署
消防出張所	208所
消防車両等	2,013台

※令和6年4月1日現在

雑学

- 日本には「消防庁」が2つあります！
- ・東京「消防庁」…東京都の行政機関
 - ・総務省「消防庁」…国の行政機関

東京消防庁の役割



東京都民の生命、身体及び財産を災害から守るために、火災の予防、警戒及び鎮圧をはじめ交通事故や労災事故等における救助、救急業務を行っています。

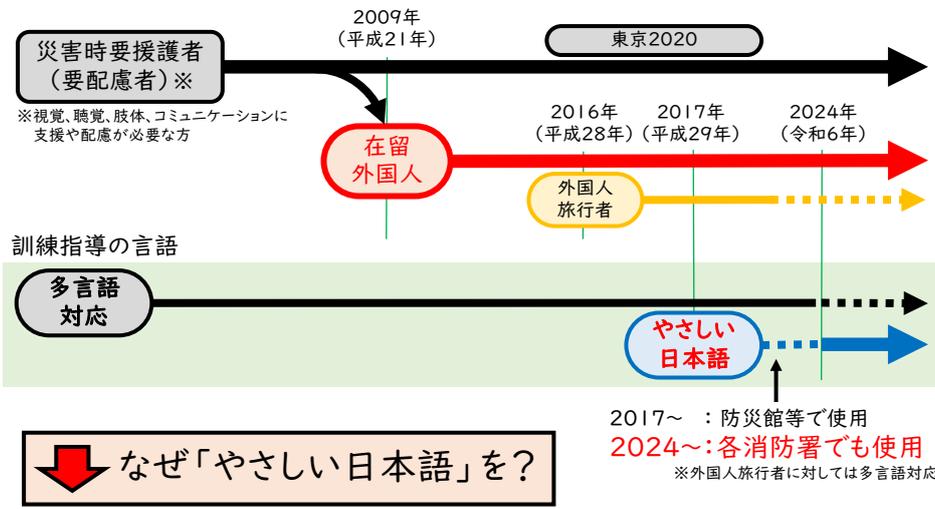
また、震災対策、水防活動、その他都民生活の安全を守る業務など、幅広い分野にわたって**防災業務**を実施しています。

その中の1つが「**防災訓練指導**」です。



在留外国人への防災訓練指導の経緯

現存する資料から追えた範囲の話になります。当初は「災害時要援護者」という括りで防災教育や防災訓練指導などを実施していましたが、平成21年度からは「外国人住民等に対する防火防災知識等の普及促進」という形で、切り分けて推進していくこととなりました。

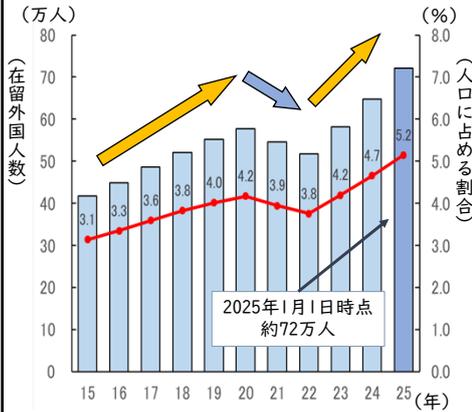


在留外国人に防災訓練をしよう①

そもそも…

どうして在留外国人に防災訓練をする必要があるの？

東京都における在留外国人数の推移(※)



東京都の人口に占める在留外国人の割合が増加している (今後も増加が見込まれている)

日本人に比べて、災害時の死亡率が高かった(※阪神・淡路大震災において日本人の約1.5倍)

地震を知らなかったり、「地震時の正しい行動」が日本と異なる場合がある

…等

在留外国人に防災教育や防災訓練を実施していく必要があります。(しかも重要性は増していくと予想されています…)

(※) 平成24年までの数値は東京都における外国人登録者数である。平成24年7月から外国人が住民基本台帳法の適用対象となったため、平成25年以降は住民基本台帳における人数である。

在留外国人に防災訓練をしよう②

在留外国人に防災訓練をする必要性は理解したところで…

いざ防災訓練を実施!…したいけどどうすればいいのかわからない…

どうやって集める?

言語は?

適切な内容は?



というわけで。



情報を集めよう!

平成18年から毎年、東京都生活文化局が主催で

外国人支援のための防災訓練を実施

当庁も視察と職員による指導という形で関与することで、外国人※への訓練指導のノウハウを共有

※当時は“在住”外国人を対象にしています。



コロナ禍

(在留外国人が減少)

感染拡大防止のため防災訓練が下火に…

令和5年度、在留外国人が再び増加に転じたタイミングで…

在留外国人に合わせた防災訓練の実施方法を探るべく

調査を開始!

在留外国人に防災訓練をしよう③

調査開始時点で分かっていることは

「外国人に対する訓練は日本人に対する訓練と勝手が違う事」だけ。

調査方法

- ① 各消防署へのヒアリング、他の組織へのヒアリング
- ② 検証のための防災訓練を実施



× 日本語
△ 参加者の母国語
◎ やさしい日本語

調査項目

項目を「アプローチ方法」「意思伝達手段」「指導内容・指導方法」「その他」に分けて調査項目を設定

「計画時の」調査項目（一部）

アプローチ方法	情報の周知方法、協力機関の有無
意思伝達手段	使用言語、通訳（語学ボランティア）の派遣方法
指導内容・指導方法	指導内容のニーズ、拘束時間、有効な補助資器材
その他	開催場所、開催曜日、出身国による参加者の差、会場への移動時間・移動方法、誰と来たか

在留外国人に防災訓練をしよう④

各消防署、他の組織へのヒアリング結果



消防署
20署



- ・要望（依頼）を受けて訓練指導を実施している。
- ・指導場所の大半は「学校※」である。
※大学、高校定時制、日本語学校（留学生）等
- ・指導の言語は「外国語（通訳）」が主流。
- ・訓練をする前に防災の基本を教える必要がある。
- ・難しいことは伝わらない。指導内容は絞るべき。
- ・住んでいる場所（団地等）で訓練を実施しても参加してこない。
- ・アプローチ先を探すことが重要である。

つながり
創生財団
町会
東京都
生文局
日本赤十字
東京支部
等



- ・アプローチ方法は各組織とも手探り状態である。
- ・日本人とは行動原理が異なっている。
- ・外国人を集めるには、明確な「来る目的」が必要。
- ・情報拡散は「信頼できる人（キーパーソン）」からの「連絡（ロコミ、SNS等）」が有効である。
- ・集まって住んでいてもつながっていないとは限らない。
- ・外国人が多い地域の商店街では商店街の有力者が（外国人の）キーパーソンとなっている場合がある。
- ・催しは「無料」と表記しないと有料だと認識されてしまう。

在留外国人に防災訓練をしよう⑤

「検証のための防災訓練」実施概要

防災訓練実施日と場所

- ① 令和6年1月13日(土) ゆいの森あらかわ(荒川区)
- ② 令和6年2月20日(火) 戸塚地域センター(新宿区)
- ③ 令和6年2月27日(火) 戸塚地域センター(新宿区)
- ④ 令和6年3月 2日(土) 荒川公園(荒川区)
- ⑤ 令和6年3月 5日(火) 西大久保公園(新宿区)
- ⑥ 令和6年3月12日(火) 西大久保公園(新宿区)

関係機関等と協力して
訓練指導を実施

消防署単独で
防災訓練を実施
(1時間程度)

実施した広報

- 共通 … 消防署のHP、区役所・関係機関等のHPや外国語SNSで情報発信
- ①④ … 国際交流協会、NPO等、区立小中学校、日本語学校、飲食店などでチラシ配布やロコミでの周知のお願いなど
- ②③ … 会場近隣の町会や事業所、公立小中学校などにチラシを配布、
- ⑤⑥ … 会場周辺の日本語学校全校に赴き、チラシの掲示を先生に直接依頼

訓練会場に用意した意思疎通手段

- ①④ … 通訳(関係機関等、語学ボランティア)
- ②③⑤⑥ … 日本語・外国語を併記した補助資料(フリップボード)



在留外国人に防災訓練をしよう⑥

「検証のための防災訓練」実施結果

① 訓練参加外国人:40人(9か国)



- ① 1月13日(土) ゆいの森あらかわ(荒川区)
- ② 2月20日(火) 戸塚地域センター(新宿区)
- ③ 2月27日(火) 戸塚地域センター(新宿区)
- ④ 3月 2日(土) 荒川公園(荒川区)
- ⑤ 3月 5日(火) 西大久保公園(新宿区)
- ⑥ 3月12日(火) 西大久保公園(新宿区)

得られた知見の一部

・チラシの配布(のみでの周知)には、ほとんど効果はなかった。

④ 訓練参加外国人:多数(通訳対応は4組)



・通訳を手配する場合は班行動が必要。
・各ブースに翻訳機器や通訳を配置する方法では、係員1名又は通訳1人が通訳対応で拘束されるため、補助資料が適する。

・アジア系の方は外見で判断不能。

② 訓練参加外国人:0人

③ 訓練参加外国人:6人

⑤ 訓練参加外国人:31人

⑥ 訓練参加外国人:57人



・外国人の移動動線上で実施し、呼び込みも実施すると効果あり。

・ノベルティがある場合は訓練実施前に渡した方が参加率が高かった。

・公立学校に通う子供は大抵通訳。

指導する言語についての検討①

どんな言語での意思疎通が妥当か？

東京都における在留外国人の日本語能力について、日本語能力試験の受験者数(※)から推測すると、

※独立行政法人国際交流基金及び
公益財団法人日本国際教育支援協会主催の2023年度日本語能力試験受験者より



なぜこのレベルを目指しているの？

2023年3月に示された東京都生活文化スポーツ局『東京における「地域日本語教育の体制づくり」のあり方』で、行政による地域日本語教育が目指すべき日本語能力は、JLCAATでの「B1」レベルとしており、これは一般社団法人国際教育促進協会が示す比較表によると、日本語能力試験の「N2」合格レベルに相当します。また、上記の表は「受験者」の割合を示しているため、実際の日本語能力は上記のレベル未満と推測できます。

つまり…

「やさしい日本語」が通じるレベルを目指している

と推測できる。

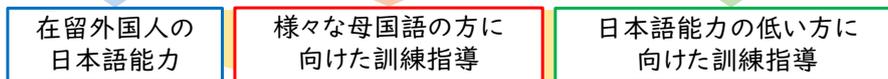
指導する言語についての検討②

在留外国人に向けた防災訓練はどこで実施されているか？

当庁が指導する訓練の多くが日本語学校や日本語教室で実施されています。

⇒ 在留外国人の中でも、日本語能力が低い方々が
防災訓練に多く参加

⇒ 様々な母国語を持つ方が防災訓練に参加



やっぱり「やさしい日本語」による指導が効果的!!

とはいえ、日本語学校や日本語教室には「やさしい日本語」を理解できない方々がいます。そんな方々に対しては翻訳機器や通訳を用意する必要があります。

そのため、訓練指導の際にはそれらを準備できる団体等と協力し、「努めて翻訳機器や通訳を訓練会場に用意してもらう」としました。

外国人防災訓練マニュアルの誕生

「外国人防災訓練マニュアル」の誕生

ヒアリングや「検証のための防災訓練」等で得られた知見をまとめ、令和6年3月に

「外国人防災訓練マニュアル(第1版)」として各消防署へ共有

記載内容について

計画時の調査項目

アプローチ方法	情報の周知方法、協力機関の有無
意思伝達手段	使用言語、通訳（語学ボランティア）の派遣方法
指導内容・指導方法	指導内容のニーズ、拘束時間、有効な補助資器材
その他	開催場所、開催曜日、出身国による参加者の差、会場への移動時間・移動方法、誰と来たか



検証できた情報が少なかったため、計画時の調査項目で記載できなかった項目も多いものの、「現場で使いやすいマニュアル」を目指して作成しました。

外国人防災訓練マニュアル①



どういった検証を実施したかを「ツリー形式」で記載し、検証の流れを理解しやすくしました。

作業手順を、フローチャート形式で記載し、「次に何をするか」を理解しやすくしました。

防災訓練では、原則として「やさしい日本語」を使用することとしました。

なぜ「やさしい日本語」を使うの？

・在留外国人に一番通じやすい言語が「やさしい日本語」であるため。

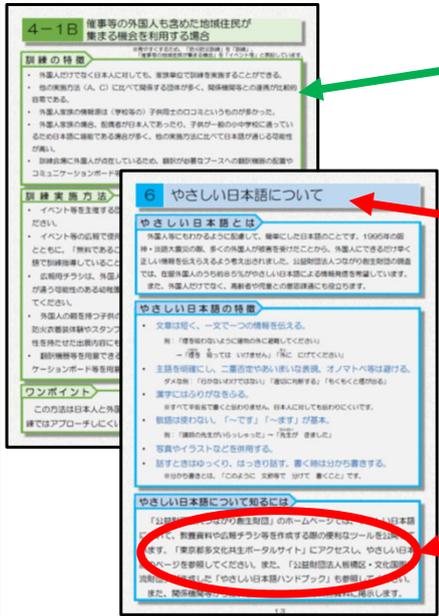
・消防署が対応できる外国語は「その時在籍している職員個人の能力」に左右されてしまうため。

・外国語で防災訓練を実施する場合、「次回も●●語で指導をお願いします」という要望に対応できない可能性があるため。

・使いこなすことで、在留外国人だけでなく高齢者や未就学児等に向けた指導にも応用できるため。

※組織内向け表現があるため、意図的に解像度を落としています。

外国人防災訓練マニュアル②



※組織内向け表現があるため、意図的に解像度を落としています。

実施する防災訓練の方法ごとの特性や注意点、
 どういう方を対象とするべきか、等について検証
 できた内容を記載しています。

やさしい日本語についても記載。
 内容については、東京都生活文化スポーツ局(当
 時)が実施した研修で使用された、
 「やさしい日本語と多文化共生の推進」
 から引用しています。



ちなみに…
 「公益財団法人つながり創生財団」のホームペ
 ージでは、教養資料や広報チラシ等を作成する際の
 便利なツールを公開しています。
 「東京都多文化共生ポータルサイト」にアクセスし、
 やさしい日本語のページを参照してください。
 という内容がここに記載されています!

外国人防災訓練マニュアルの課題

マニュアルに従い、在留外国人に防災訓練を実施したところ…

- ・**そもそもマニュアルが情報不足** (訓練の特徴や注意事項の記載が足りず、思わぬ苦勞が…)
 - ・管内に外国人が見当たらない (人口統計上、外国人が住んではいないはずなんだけど…)
 - ・**説明するための道具が必要** (訓練内容や注意事項を伝えるのが難しい…)
- などの課題が明らかに…

このため…

令和6年度も**継続して情報を集め、マニュアルを更新**

令和7年3月に外国人防災訓練マニュアルが「ver.1」⇒「ver.2」に!



まだまだ
 情報不足!

⇒ **令和7年度以降もノウハウを蓄積する取組みを実施!**

今後も情報更新を進めていきます。

⇒ **説明補助の資料も作成しました!** この後、紹介します。



やさしい日本語の資料を作ろう①

訓練内容や注意事項をどうやって伝えるか？

- ①翻訳機器 …… そもそもその翻訳結果は正しいのか？
訓練会場で、正しい翻訳がされているかどうかの判断ができません…
- ②通訳 …… 消防署での用意が難しい
個人の技能として外国語を話せる職員はいるものの、属人的な対応に…
- ③やさしい日本語 …… 通じない人にどう伝えるか？も課題
母国語に依らず伝えることができるものの、訓練会場には「やさしい日本語」が通じにくい方もいることが判明した…

結論

文字で伝える必要性が無いのでは？



やさしい日本語の資料を作ろう②

コンセプトは「文字に頼りすぎない」

作成方針：

- ・ 文字は最低限とし、やさしい日本語を使用する。
- ・ できる限り、イラストや写真、動画で使用する。
- ・ 文字が理解できない場合でも、画像や動画でイメージが伝わるようにする。

この作成方針で資料を作成しました！

令和7年8月、訓練補助資料である、

通称「コミュニケーションボード」が完成。

12月に各消防署に配布されました。



コミュニケーションボードとは

大きさはB1サイズ

(見る距離が近い) **屋内で大きすぎず**、
(見る距離が遠い) **屋外で小さすぎない**、
そんな大きさ。



やさしい日本語を使用。
伝える内容は最小限。見やすさ重視。

イラストや写真を説明のメインに。
文字を読まなくても伝わるよう考慮。



伝えたい動きを**動画でも伝える**。
自身の携帯などで確認することもできるため、
体験を待っている間に動画を見ることもできる。



やさしい日本語を用いた資料の充実

作成したコミュニケーションボードは4種類

- ①初期消火(消火器の使い方)
- ②煙からの避難
- ③地震について
- ④身体防護(起震車体験)



他にも資料を作りました。



手に持って使えるような資料ってないの？

持って使わなくていい資料なら作ってます！



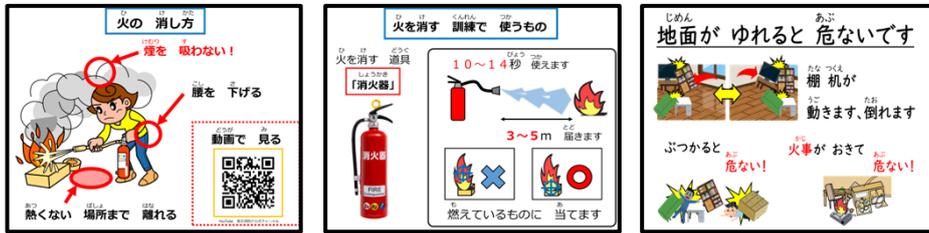
手で持って使える資料が欲しいです！

そんなわけで…

「A3フリップボード資料」が完成。



A3フリップボード資料



フリップボード資料の特徴

- ・コンセプトはイラストや動画で内容を伝える。
- ・準備や持ち運びが容易。手に持って使用や、机などに置いて使用が可能。
- ・コミュニケーションボードの内容も活用しました。

現在、「初期消火」「煙からの避難」「通報訓練」の3種類があります。

今後も追加していく予定です。

訓練補助資料の効果

これまでに得られた訓練補助資料の効果をまとめると…

- 訓練内容や注意事項を伝える際に非常に役立つ。
- 説明時間を短縮できる。
- 体験を待っている間にあらかじめ見ておいてもらうことができる。
- B版の資料データは、(消防署で所持している)B1・B2サイズの広報用パネルを有効活用できる。
- ×屋外で使用する場合はB2以上のサイズが望ましい。
(※屋外でも距離が近い場合は問題ない。例:机に座って行う通報訓練など)
- ×在留外国人に対しては、応急救護訓練のニーズも高い。資料を用意してほしい。
(※応急救護訓練の資料は優先して作成する予定です。)



概ね好評ではあるが、資料の種類が少ないことが課題。

現在の方針(コンセプト)を維持しつつ、今後も整備していきます。

今後実施していきたいこと

- コミュニケーションボード資料の充実
応急救護訓練や、防災教育の資料を充実させる。
⇒様々な防災訓練で活用していきたい。
- 職員への「やさしい日本語」の普及
 - ・ 職員向け「やさしい日本語」資料の作成
 - ・ 「やさしい日本語」リーダー研修等への職員の参加



今後も、在留外国人への防災訓練や防災教育を通して、職員への「やさしい日本語」への理解を深めるとともに、活用していくための環境づくりを進めていきます。

おまけ

在留外国人に、防災訓練指導等を実施した個人の見解ですが…

外国人との意思疎通で、ボディランゲージは大切です。

やさしい日本語での説明に加え、ボディランゲージを併用することで、在留外国人の方の理解が深まると感じます。



在留外国人の方へ何かを伝える際には、ボディランゲージもぜひ使ってみてください！

